

平成27年3月19日
野菜業務部 直接契約課

第24回加工・業務用野菜産地と実需者との交流会（国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 東京）の概要について

3月10日（火）、東京国際フォーラム（東京都千代田区）において、標記交流会を開催しました。その概要は、以下のとおりです。

1. 出展者・来場者

今回は、全国各地から128の事業者・団体が出展し、このうち初出展者は41（うち、生産者・生産者団体18、流通・加工業者14）でした。また、隣接会場での「JAグループ国産農畜産物商談会」との同日開催の効果もあり、多数の来場者を迎えるなかで、各ブースでは商談や情報交換が行われるなど、終日賑わいをみせました。



午後には、あべ農林水産副大臣が来場され、セミナー・パネルディスカッションの聴講をされるとともに各ブースを視察し生産者や実需者と意見交換を行いました。

- ・ 出展者数 128（うち、生産者・生産者団体58、流通・加工業者40）
- ・ 来場者数 1,150（うち、量販・小売店122、卸・仲卸・商社370、中食・外食等137、食品製造・加工業119、マスコミ21）



2. 特別商談会

マッチングをさらに後押しするため実施している「特別商談会」（個別・予約制の商談会）には、実需者7社に対し27の生産者等が参加し、前年を上回る68件の商談が精力的に行われました。



3. 加工・業務用野菜対策についての説明会

セミナー会場では、農林水産省の担当官と連携しながら、機構職員により、リレー出荷の特例措置を含む契約野菜関連事業について、説明会を行いました。



4. 野菜産地と実需者とのセミナー・パネルディスカッション

また、同会場では、野菜ビジネス協議会主催の「野菜産地と実需者によるセミナー・パネルディスカッション」が開催され、約160名の参加がありました。産地及び実需者からの話題提供ののち、様々な議題について、活発な意見交換が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



- ・コーディネーター (一社) J C総研客員研究員 仲野 隆三 氏
- ・パネラー こと京都(株)代表取締役社長 山田 敏之 氏
(株) Tedy 代表取締役社長 林 俊秀 氏
(株) ケーアイ・フレッシュアクセス 常務執行委員 相原 徹 氏
倉敷青果荷受組合 カット野菜部営業課長 寺田 幸司 氏

※第24回交流会の開催概要（詳細）については、当機構が発刊している野菜情報5月号に掲載します。

URL : <http://www.alic.go.jp/>

野菜情報

で検索